



# 往還通信



## 往還風景

## 往還まつり

10月9日(土)

はじめての雨の往還まつりでしたが、たくさんのご家族様にご来場していただき、おまつりを開催することができました。

理事長の挨拶にはじまり、昼食に職員が焼いたみたらしだんご焼きそばに味ご飯、トン汁にフルーツポンチといったメニューをめしあがっていただきながら職員のハンドベル演奏、続いてボランティアの子供太鼓と、手作りクラブの作品の神輿の披露など、楽しんでいただきました。お楽しみ抽選会のあと施設長の挨拶で往還まつりを終えることができました。

ありがとうございました。

おいしいね?



ドンドン  
まつりだあ  
太鼓だあ



わあ  
いい曲!







神輿の  
お披露目!

曲目  
ハンドベルで  
村まつり  
瀬戸の花嫁  
を演奏



## 11月のクラブ活動

- 4日 (木) 書道クラブ 
- 18日 (木) 書道クラブ
- 11日 (木) 手作りクラブ 
- 12日 (金) 手作りクラブ
- 16日 (火) カラオケクラブ 
- 23日 (火) カラオケクラブ
- 25日 (木) お花クラブ 

## 11月の行事

### 音楽療法

11月24日(水)(2階・3階・ss・デイ)

11月3日(水)朝日町文化祭

## 朝日町文化祭

11月3日

朝日町文化祭にでかけました。書道クラブ、手作りクラブなどで作られた作品を展示させていただきました。

たくさんの方々の作品や、バザーに目をとめて気に入った物を購入され、楽しくすごされました。

### クラブ作品展示





文藝春秋の11月号の大型特集には「医療の常識を疑え」があります。その中に「老人医療に無駄なチューブはいらない」というタイトルで東京の特別養護老人ホームの配置医師である石飛幸三氏が書かれている文章があります。機会があれば実際に読んでいただければ一番なのですが、あくまでも医師の立場からみた穏やかな人生の終焉についての感想です。医療はこれまで病気と闘ってきて、少しでも寿命を延ばそうとしてきました。今このときでも脳死からの臓器移植や、iPS細胞を使っての臓器再生など積極的に寿命を延ばそうとしています。大学病院や大きな総合病院などでは今でも死は敗北、命を少しでも延ばすことが使命であり、いかに死をさけるかに躍起になっています。

生きているものには寿命があります。死はさけられるものではありません。安らかな死を看取することも医師の大事な役割ではないか、自然な死とはどういうものなのか、安らかな死とはどういうことなのか、特養にきて学びましたと著者は書いています。

チューブや点滴などは生命維持のために確かに効果はあります。何も対応をしないで亡くなったら訴えられるのではないかと怯えて処置をすることもあるでしょう。それは人間らしい穏やかな死を医療という手形で虐待しているようにも思えてくるときがあります。入居者の気持ちや意志、家族の思いを受け入れながら人生の黄昏を有意義なものにしていけたらと本を読んで思いました。

こめだ腎・泌尿器科 米田 勝紀

### 今月のクラブ作品

書道クラブ

手作りクラブ



書道クラブ

お花クラブ



### 編集部より

ようやく本格的な秋になりましたが、だんだんと寒くなるにつれ体調管理の方にも気をつけたいですね！

往還祭りは、残念なことに雨降りとなりましたが大勢のご家族様にきていただいた事やご家族様とテーブルを囲んでのお食事は、大変うれしかった事と思います。

ありがとうございました。

ワンポイント

今日から始める、簡単お口のケア



### 入れ歯をはずした後のお口のケア

口からはずした入れ歯のお手入れは、歯正面からも、長持ちをさせるためにも大切ですが、残っている歯や歯肉、舌などのケアもきちんと行っていますか？

入れ歯をはずした後は、お口の中もきちんとお手入れすることも大切です。

入れ歯と接している歯肉や上あごには食べかすや口内炎などの原因にもなりますから、総入れ歯で自分の歯が一本もなくともお口の中のブラッシングは必要です。入れ歯をはずした後は口をよくすすぎ、やわらかい歯ブラシなどで歯肉や舌、上あごをブラッシングすると汚れが取れますし、マッサージ効果もあるので血行もよくなります。

部分入れ歯の場合は、入れ歯をはずした後、これ以上自分の歯を失うことがないように、しっかり磨きましょう。歯がまばらになっているときは、1本ずついいねいに磨き、入れ歯の金具がかかる歯には特に汚れがつきやすいので念入りに磨いてください。

入れ歯をずっとはめたままにしていると、歯肉に負担がかかって血行が抑制されがちになりますから、寝るときには入れ歯をはずして、歯肉を休めるようにしましょう。

歯科衛生士 水谷 敦子